

もも・ネクタリン特報

No. ④

2022. 4. 28

J A 中野市営農センター
J A 中野市りんご・もも部会

落花後の防除（目安：4月末～5/5頃）は、特報No.③をご確認ください。

【生育状況】 白鳳（平岡調査地点）

開花は4/18頃で、概ね例年並みに進んでいる状況です。（参考：平年4/17 昨年4/8）

年度	平年	R1	R2	R3	R4（本年）
満開	4/25	4/24	4/22	4/13	4/22
落花	5/3	5/3	5/1	4/24	5/2頃?

第4回 定期散布

桃とネクタリンの混植園では、裏面のネクタリン防除を実施する。

もも

アグレプト水和剤等は「ぶどう」に種なし果を生じるため、飛散しないよう散布する

散布時期	落花10日後（第3回定期散布から10日後） ・散布日の目安：5月10日～15日	散布日	5月	日
散布薬剤	水 100ℓ当り アビオンE（展着剤） 100ml ④モスピラン顆粒水溶剤 25g（収穫前日まで、3回以内） ストロビードライフフロアブル 50g（収穫前日まで、3回以内） アグレプト水和剤 100g（ <u>収穫60日前まで</u> 、2回以内）	散布量		ℓ _水 g
散布量	10アール当り 400ℓ			
対象病害虫	せん孔細菌病、黒星病、灰星病、うどんこ病、アブラムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類、カメムシ類			

【注意事項】

- ① モスピラン顆粒水溶剤は「劇物」です。ご購入の際は「印鑑」をご持参下さい。
- ② 極早生種（たまき・赤宝等）は、アグレプト水和剤等の収穫前規制『収穫60日前まで』に注意する。
⇒ 対策・・・アグレプト水和剤等に代えてマイコシールドの1,500倍（21日前、5回）を使用する。
- ③ アグレプト水和剤に代えて、ストマイ液剤20の1,000倍またはアグリマイシン100の1,500倍を使用しても良い。
- ④ アグレプト水和剤（液剤）、ストマイ液剤20、アグリマイシン100等の使用回数は、合計で2回までとする。
- ⑤ カイガラムシ類 発生園は、アプロードフロアブルの1,000倍（14日前、3回）を加用する。

もも

第5回 定期散布

桃とネクタリンの混植園では、裏面のネクタリン防除を実施する。

散布時期	5月下旬（第4回定期散布から10日後） ・散布日の目安：5月20日～25日	散布日	5月	日
散布薬剤	水 100ℓ当り アビオンE（展着剤） 100ml トレノックスフロアブル 200ml（収穫7日前まで、5回以内） ④ハチハチフロアブル 50ml（収穫前日まで、2回以内） マイコシールド 66g（ <u>収穫21日前まで</u> 、5回以内）	散布量		ℓ _水 g
散布量	10アール当り 500ℓ			
対象病害虫	せん孔細菌病、黒星病、灰星病、うどんこ病、モモハモグリガ、アブラムシ類			

【注意事項】

【シンクイムシ類対策】 ハチハチFに代えて④イカズチWDGの1,500倍（収穫前日まで、5回以内）を使用する。

【カイガラムシ類 対策】 コルト顆粒水和剤の2,000倍（収穫前日まで、3回以内）を加用する。

ハチハチフロアブルは、「劇物」です。ご購入の際は印鑑をご持参ください。

ネクタリン

第4回 定期散布

散布時期	落花10日後（第3回定期散布から10日後） ・散布日の目安：5月10日～15日	散布日	5月	日
散布薬剤	水 100㍓当り アビオンE（展着剤） 100ml ⑧モスピラン顆粒水溶剤 25g（収穫3日前まで、3回以内） トレノックスフロアブル 200ml（収穫30日前まで、5回以内） マイコシールド 66g（収穫28日前まで、5回以内）	散布量		㍓
散布量	10アール当り 400㍓			
対象病害虫	せん孔細菌病、黒星病、灰星病 アブラムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類、カメムシ類			

【注意事項】

- ① モスピラン顆粒水溶剤は「劇物」です。ご購入の際は「印鑑」をご持参下さい。
- ② 【代替】トレノックスフロアブルに代えて、ストロビードライフロアブルの2,000倍（前日、3回）を加用する。
- ③ アグレプト水和剤、アグリマイシン100、ストマイ液剤20等は、ネクタリンに登録がないため使用できません。
- ④ カイガラムシ類 発生園は、アプロードフロアブルの1,000倍（7日前、2回）を加用する。

ネクタリン

第5回 定期散布

散布時期	5月下旬（第4回定期散布から10日後） ・散布日の目安：5月20日～25日	散布日	5月	日
散布薬剤	水 100㍓当り アビオンE（展着剤） 100ml トレノックスフロアブル 200ml（ <u>収穫30日前まで</u> 、5回以内） ⑧ハチハチフロアブル 50ml（ <u>収穫前日まで</u> 、2回以内） マイコシールド 66g（ <u>収穫28日前まで</u> 、5回以内）	散布量		㍓
散布量	10アール当り 500㍓			
対象病害虫	せん孔細菌病、黒星病、灰星病、シンクイムシ類、モモハモグリガ、アブラムシ類			

【注意事項】

- ① 【シンクイムシ類（カメムシ類）対策】
ハチハチFに代えて⑧イカズチWDGの1,500倍（前日、2回）を使用する。
- ② 【カイガラムシ類 対策】
コルト顆粒水和剤の2,000倍（収穫前日まで、3回以内）を加用する。
- ③ ハチハチフロアブルは、「劇物」です。ご購入の際は印鑑をご持参ください。

●摘花 凍霜害による結実不良の心配がない園地のみ、摘花を実施し着果制限する。

●せん孔細菌病 春型枝病斑の除去

せん孔細菌病の発生を確認した園地は、5月末まで枝病斑の除去を必ず実施する。

●予備摘果

- ・横向き、下向きの果実を残す。
- ・上向き、骨格枝先端、結果枝基部の果実を摘む

【注意】凍霜害により結実不良の場合は、着果位置に関係なく樹全体で着果量を確保する。

結果枝	残す果実数
長果枝（30 cm以上）	3個
中果枝（10 cm～30 cm）	2個
短果枝（10 cm未満）	1個

（果樹指導指針より）

もも 結果枝別着果量の目安